

トマト

食味、果実肥大性に優れた葉かび病耐病性品種！春無加温～夏秋雨除け作型に最適！

たい

びよう

りゅう

ふく

(カネコ交配)

耐病竜福

Tomato, Taibyō Ryūfuku Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027(251)1611(代)

(カネコ交配)

耐病竜福

トマト

Tomato, Taibyou Ryufuku Hybrid

●特 性●

- (1) 平均果重200～220g位、果実肥大性に優れスタミナもあるため、収穫後半まで大果での出荷が可能です。
- (2) 豊田甲高の果形で、秀品率が高いことが特長です。
- (3) 果実が堅く、高熟度での出荷が可能のため、高い糖度と安定した食味を保つことが出来ます。
- (4) 草勢はやや強く10段以上の長段栽培でも収穫終了までスタミナが持続します。
- (5) 葉かび病(Cf-9)、萎ちょう病(レース1・2)、半身萎凋病、ネコブセンチュウ、斑点病、ToMV(Tm-2a)に安定した複合耐病虫性を有しています。また、青枯病に対して中程度の耐病性を有します。

●栽培要点●

○育苗～定植

極端な老化苗での定植は嫌います。根が変色する前に定植を行い、植え傷みを防ぎます。圃場の元肥は極力抑え気味とし、十分な土壤水分を確保します。草勢に応じて3段花房の開花時期頃からやや早めの追肥・灌水で追い上げる栽培法が適しています。

○摘果

初期の根量確保のため、第1、2段果房は3果、第3段果房以降は4果程度に摘果を行います。特に1段目の過剰肥大は後半の着果不良につながりますので、3段花房開花時に500円玉大以上に肥大した1段目果実については積極的に摘果します。

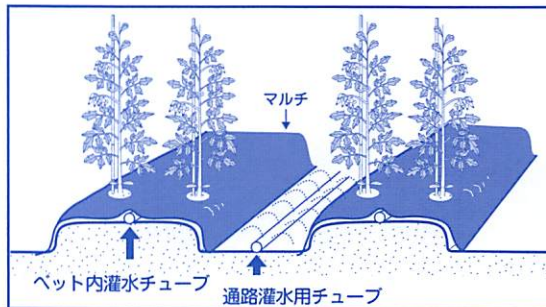
○追肥

追肥のタイミングは草勢を見て判断します。第3段花房以降、2～3花開花した位置の主茎が太さが

エンピツ1～1.5本分の範囲におさまるように予測を立てながら、やや早めに少量ずつ追い込みます。ただし、摘芯後の追肥は禁物です。1回当たりの追肥量は、液肥の場合、窒素成分で1kg(10aあたり)程度とします。

○灌水

2～3花開花した位置から生長点までの長さが15cm程度になるように灌水量を調節します。ベツト内だけではなく通路にも灌水を行い、水分補給とともにハウス内湿度を確保します。特に高温、乾燥時期は通路への灌水に重点を置きます。



○摘芯

最終ホルモン処理の10日前を目安に摘芯を行います。生長点付近のマッチ棒の軸程度の太さの位置で摘芯し、摘芯後は追肥は一切行わず、灌水のみ適度に続けます。また、摘芯後上部に発生した側枝については半放任とし、繁茂状態を作り、上段果実への直射光線を防ぎます。なお、草勢が強いときには摘芯を遅らせます。場合によっては摘芯をしないことも一法です。

●栽培作型●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウス無加温	○	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ハウス雨除け	○	○	×	×	—	—	—	—	—	—	—	—

○ 播種期 × 定植期 — 生育期 ▨ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)

取扱店